

令和7年度 第2回北海道立文学館運営評価委員会

開催日時 令和8年3月19日(木) 10時00分～11時30分

開催場所 北海道立文学館 地階講堂

I 次第

1 主催者挨拶

2 議題

(1) 令和8年度展覧会事業(案)について

(2) 令和8年度教育普及事業(案)について

(3) 令和7年度利用者満足度調査について

II 出席委員

(敬称略；あいうえお順)

氏名	所属等
東谷 一彦	【学識経験者】 札幌国際大学短期大学部 非常勤講師
辰巳奈優美	【利用者】 公益財団法人北海道文学館賛助会員(俳人協会北海道支部 事務局長)
古内 良輔	【地域関係者】 中島公園管理事務所長(中島公園地域コミュニティ推進協議会 事務局長)
渡辺 俊之	【社会教育関係者】 公益財団法人北海道生涯学習協会 専務理事

III 委員からの意見等

委員)

今日の感想を含めて、ちょっと前の展示になりますが、おばけのマール展を孫と一緒に
行こうと思ったのですが、寒い時期だったので、孫の風邪がながびいてしまい、なかなか
私と一緒にいくことができなかったのですが、副館長さんご自身の子育ての時期とおばけ
のマールとの出会いの経緯が新聞などで紹介されていて、それを身近に感じて、親しみが
わいて、宣伝にもなるし、写真などもとても良かったと思いました。絵本もたくさん販売
されていましたし、展示会の最後に参加型というか、可愛い用紙にちょっと書くようになって
いて、そういう工夫がされていて、とても楽しめる企画になっていたと思いました。

20 今日も見せていただいた個人のコレクション、コレクションの輝きを懇切丁寧に解説し
21 ていただきましたが、最初に入ったところの右側に壁掛けのガラスケースの展示があった
22 と思いますが、その展示の仕方を見たのは初めてでした。あの展示の仕方は、大変だろう
23 などと思いますが、覗き込むよりもとても見やすく、美しい表紙や装丁を見るのには、よか
24 ったと思いました。

25 常設展の方も古い紙芝居やいろいろな歴史を知れて、おもしろかったです。常設展のリ
26 ニューアルを計画されているということで、常設展の入口の方は見ても、自分を含めて、
27 なかなか会場の奥の方まで入って行かない気がしますし、普段、あまり見ない気がします
28 ので、リニューアルによって奥まで入って見てくれる人が増えればいいなと思いました。

29

30 事務局)

31 当館をテーマとした絵本もでき、マールの絵本シリーズの表紙を小さく印刷した用紙に
32 いろいろなメッセージを書いて、貼っていただくということで、参加型の展示を行った
33 結果、メッセージの枚数が一千何百枚になりました。お陰様で、好評のうちに終わること
34 ができました。

35 壁展示の大きなケースは、安部公房展の時に公房の奥様の真知さんが公房の作品を装丁
36 したものの展示で、平ケースでは伝えきれないこともあり、それを捨てないで置いて使い
37 ました。壁展示は展示映えすることはわかっていますが、実際に本は壁に掛けられないと
38 いう絵とは違う性質があるので、ケースの方を壁に掛けてやっていきたいと思います。

39 委員)

40 来年度の特別展ですが、ファミリー文学館、特別展の堀内誠一、岩田道夫とどちらかと
41 いうとファミリー向けの展示が多いという感じになっていて、辻村もと子はこういう作家
42 がいるという紹介になっている。先ほども話題に出ていましたが、今年度のおばけのマー
43 ルは、道新がとにかく取り上げてくれました。しかも、一回、一面を使って大きく取り上
44 げてくれたのは、すごくありがたいですね。堀内誠一さんとかも道新さんにしたら取り上
45 げやすいのかなという気がするので、マールのように特集を組んで出してくれると、すご
46 く効果的だと思いました。一方で今見せていただいた「文学館コレクションの輝き」のチ

47 ラシも何回も道新に出ています、ただ、パッと見てどうなのかなと思いました。私は今、
48 実際に見せていただいてもものすごく貴重な資料がたくさんあることをよくわかっていま
49 すが、「文学館コレクションの輝き」として括られて、ここだけポンと出ていてもあまり
50 イメージとして湧きにくい。一度、説明の記事も出ていたのを私も見ましたが、いくつか
51 作家名を入れるとかの方がイメージしやすいのかなと思いました。いろいろお考えがある
52 と思いますが、そういう印象がしてしまいました。

53 別件でひとつお願いがあります。20年くらい前になりますが、去年、平取高校の校長さ
54 んだった鈴木浩さんが道立文学館にいらした時に「北の人間・北の文学」という本を出さ
55 れていると思います。文学館が監修されて、鈴木浩さんが中心になってやっていたのを私
56 も見ていまして、あれはすごく良い仕事だと思いました。あれから20年以上も経ってどん
57 どん新しい作家さんも出てきているわけですから、いわゆる北の文学者の作品を中学・高
58 校で使えるような教材的なものを新たに出していただくというようなことも考えていた
59 だけると良いのかなと思いました。今、高校で文学の授業の実施が難しくなっている。ど
60 んどん文学の授業ができないようなカリキュラムになってしまっている、だとしたら
61 そういう副教材みたいなものがあって、例えば探究の時間でも使えるという形のものがあ
62 ると、すごくありがたいと思いました。ぜひとも文学に触れる一つのきっかけにしてい
63 だけるといいのかなと思いました。

64 事務局)

65 最後のお願いという部分ですが、どういうことができるかですが、当館でも高校の、特
66 に国語の先生や高文連とも繋がりががありますので、高校の先生方の御意見も聞きながらい
67 ろいろ探してみたいと思います。あと、「文学館コレクションの輝き」の道新での掲載で
68 すが、作家名が入っている方がわかりやすいというお話がありましたので、実現できるか
69 わかりませんが、広報の仕方については、今後いろいろ検討してまいりたいと思います。

70 事務局)

71 当館からの出版ではありませんが、北海道新聞で「まなぶん」という中高生向きの紙面
72 を作って、来年度から隔月で「中高生におすすめしたい文学」を連載してもらえ

73 ないかというお話があり、出版に代わるものにはならないですが、学芸担当が持ち回りで
74 おすすめ作品を紙面で紹介していくお話が進んでいます。

75 道新に載せている広告について、ご指摘をいただきました。広告については、ポスター、
76 チラシを道新の紙面スペースに合わせて変えればいいものだという押さえで版下を作っ
77 ていましたが、けっしてそうではなく、もっと真剣に伝わる内容を考えていった方がいい
78 と感じました。

79 **委員)**

80 先ほどお話のあったおぼけのマールですが、来館者の目標の人数が四千二百人という目
81 標を立てていると、今年度一回目の運営委員会の時に数字を見せていただいたが、実際、
82 今の時点でどれぐらいの人数か。数字を押さえていますか。

83

84 **事務局)**

85 約三千人でした。四千二百人には届きませんでした。通常、この時期に何かやると、
86 千五百から千六百人ぐらいですが、その倍近くとなっており、広報努力で人数が増えまし
87 たが、四千二百人には残念ながら達しませんでした。

88

89 **委員)**

90 風邪が流行ってて、すごく、子供たちに。

91 **委員)**

92 印象としては、それを見るためにいらした方が公園内を歩かれているとか、子供を連れ
93 て、入口のところに看板があってそこで写真を撮っているだとか、人形みたいなものを持
94 って写真撮影しているとか、そういう姿があったので、それを目的に来館している方がい
95 らしているのかなと思っていました。新聞にも取り上げてもらったこともあり、人数がど
96 れくらいだったかなとお聞きしました。

97 今日見せていただいたものの感想とお聞きしたいことをお話しできればと思います。

98 今日見せていただいたもの、やはり詳しい解説等をいただいているほどと思うことが私

99 は多くて、事前の準備の量や準備された方の知識や展示に対する情熱みたいなものをすご
100 く感じて、準備するにあたって見えているもの以上のたくさんのものから選んできたこと
101 がすごく伝わるものでした。ただ、単純に展示を見に来ただけでは、それが全て伝わると
102 いうのは難しいのかなと思ったときに、それは人手の問題とかあると思うけど、解説とか
103 を定期的にやると、よりそこから広がっていくのかなと印象として受けました。

104 ただ、展示とかそういったものは、すばらしいなと思って見ていました。

105 ひとつ、印刷している展示物は、自前で印刷しているのか、業者に発注しているのかす
106 ごく気になって。汚れづらい紙を使っているのか、すごく見やすいものだったので、どう
107 いったものをどのような流れで準備しているのかを疑問に思ったので、教えてほしい。

108 また、紙芝居を見せていただいたときに、ひとつひとつ絵を書いて作っていましたと聞
109 いて、今の時代に、物自体は豊かになっていると思うが、それに反して心が貧しくなっ
110 てきているなという印象があって、大人も子供も時間に追われるというか、余裕のない暮
111 らしをしている方が、自分を含めて、多いと思う。タイパという言葉がよく出てきたりと
112 か、学校教育でも絵を自分で描く。例えば中島公園だと写生会を近隣の小、中学校でもや
113 っていたが、写生会自体をカリキュラムの関係で時数が取れなくて、ここに来て絵を描く
114 機会が失われている。自分でいろいろと見たものを絵に描く、自分の手を動かす機会が本
115 当に減っていると思ひまして、ほとんどの子供たち、大人もそうですが、二次元というか、
116 スマホやモニターとかで物を見る機会が多く、実際に実物を見ることの大切さが、こうい
117 う展示を通してしか解らないことがあって、3Dで見れたりとか、自分の目でいろいろな
118 角度で見るとかが本当はすごく大切だということを含めて、少しでもそういうことが
119 多くの人に分かってもらえるような取り組みを地道に積んでいくしかないかと思ひます
120 が、期待したいと思ひます。

121

122 **事務局)**

123 詳しい解説などを定期的にやるとよいのではということについて、副館長からお願いし
124 ます。

125

126 事務局)

127 今の特別展については、開催中に5回ギャラリーツアーを行います。それが多いか、少
128 ないかはなかなか難しいところですが、やはり広報力がないせいか、開催しても集まった
129 のが1名や2名というケースもありました。いろいろ考えながら回数を検討したいと思
130 います。常設展の方もこういうガイドがあればよいと思いますが、なかなか定期的とはいか
131 ず、ただ団体でお申込みいただいて、対応する者が可能であれば、常設展でもご説明させ
132 ていただいています。

133 印刷物の作り方ですが、今回も56頁の図録を作りました。それは印刷会社に頼んで、
134 内容やレイアウトの希望を伝えながら、仕様についてはできるだけ具体的に、ただ制限が
135 厳しいもので、相談しながら、教えてもらいながら作成しています。ただし、展示リスト
136 のような単純に出品しているものを紙のリストで配るものは、コピーで印刷して、受付で
137 配布しているケースがたくさんあります。

138

139 委員)

140 このアンケート調査の結果に基づいて、指定管理の更新の申請の時に、こういうのが役
141 立てられるということですか。

142 事務局)

143 冒頭の御挨拶の中で触れました、次期の指定管理の申請につきましては、当然、利用者
144 のいろいろなご意見などを踏まえて、改善すべきところは改善するという申請内容になる
145 ので、利用者のご意見は非常に重要な要素だと思いますので、今後、次期の指定管理に向
146 けて検討してまいります。

147 委員)

148 個別の意見の中にありましたように、解説を美術館のようにイヤホンで聞きながら歩け
149 るような設備を整えるには、お金がかかるのか。ああいう音声ガイドがあると、またいい
150 かなと思う。

151

152 事務局)

153 一部試行で、常設展の中の有島武郎の一房の葡萄のところで、QRコードを置いて、それ
154 を読み込んでいただくと、デジタルミュージアムのサイトに掲載されている解説に到達で
155 きるというものをやっております。ルーターが必要だとか、予算的な措置も必要になりま
156 す。リニューアルのあかつきには、QRコードなどで解説員が対応しなくても、豊富な情報
157 が得られるようにできればいいなと思っています。

158

159 事務局)

160 全ての展示コーナーについて解説は難しいと思いますが、必要な予算が確保できれば、
161 順次、今後のICTなどに対応して、サービスの向上に努めたいと思います。

162

163 委員)

164 質問でもいいですか。この特別展の岩田道夫のワンダーランドですが、私は、旭川出身
165 で、常盤公園のすぐ近くに住んでいて、すごく興味があります。この方のスタンプは、ま
166 だ残っていますか。手彫りの。

167

168 事務局)

169 残っています。旭川の常盤公園のすぐわきにあるその方のお住みだった集合住宅の一室
170 で、その作品を引き受けた方が、みなさん入ってきて見られるギャラリーのような形で改
171 装して、そこに全ての作品とスタンプ約千個が抽斗にびっしりと入った状態で保管されて
172 います。誰でもすぐ行けるという状態ではないですが、事前に予約すれば見せていただけ
173 ます。

174

175 委員)

176 これを展示される計画はないですか。

177

178 事務局)

179 展示する計画です。こちらの展覧会でも、ものすごく小さいものなので、それ自体を見
180 てもわからないので、実際に押させてもらって、具体的に見せてもらって、いろいろ組み
181 合わせながらSNSでも発信していけないかなと思っています。

182 **事務局)**

183 本日は貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございます。今後の事業運営に生か
184 して行きたいと思いますので、引き続きよろしく願いいたします。